令和2年12月

中札内村議会定例会会議録

令和2年12月10日（木曜日）

◎出席議員（7名）

1番	欠員	2番	中西千尋君
3番	黒田和弘君	4番	大和田彰子君
5番	北嶋信昭君	6番	船田幸一君
7番	宮部修一君	8番	中井康雄君

◎欠席議員（0名）

◎地方自治法第121条の規定による説明のための出席者

中札内村長 森田匡彦君 教育長 高橋雅人君
代表監査委員 木村誠君

◎中札内村長の委任を受けて説明のため出席した者

副村長	山崎恵司君	総務課長	川尻年和君
住民課長	高島啓至君	福祉課長	高桑佐登美君
産業課長	尾野悟里君	施設課長	成沢雄治君
総務課 参事	山澤康宏君		

◎教育長の委任を受けて出席した者

教育次長 阿部雅行君

◎農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長 中道真也君

◎職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長 岩崎孝哉君 書記 木村優子君

◎議事日程

日程第1		村政執行状況報告
日程第2	議案第103号	工事請負契約の変更について
日程第3	議案第104号	札内川園地南札内溪谷に係る指定管理者の指定について
日程第4	議案第105号	中札内村日高山脈山岳センターに係る指定管理者の指定について
日程第5		一般質問

◎開会宣告

○議長（中井康雄君） ただいまの出席議員数は7人です。

定足数に達しておりますので、ただいまから令和2年12月中札内村議会定例会を再開します。

ただちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりです。

◎日程第1 村政執行状況報告

○議長（中井康雄君） 日程第1、村政執行状況報告について、村長から申し出がありますので、これを許します。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） 定例会の再開にあたり、議案および一般質問の審議に入る前に、若干の時間をいただき、ふるさと納税に係る個人情報を含む文書の誤送付について、ご報告申し上げます。

11月16日に、本村に対してふるさと納税の寄附者から電話で連絡があり、個人情報を含む文書を誤って送付したことが分かったものであります。

具体的には、本村に対して寄附をしてくださいました21名の方の住所、氏名や連絡先を記載したワンストップ特例申請書を誤って別の寄附者へ送付してしまいました。

このことに伴い、誤送してしまいました21名の方々へ、それぞれ連絡を取り、このたびの不手際をお詫び申し上げるとともに、誤送した申請書をご返送いただき、正しい申請書を再送付させていただきました。

個人情報の慎重な取扱いが徹底されねばならない自治体の事務において、このような不祥事を発生させてしまったことは、誠に申し訳なく、心より深くお詫びを申し上げます。

中札内村を応援してくださる方々の信頼を損ねる事態となったことの重大性を厳粛に受け止め、今後、二度とこのような事態を繰り返さないよう事務処理には細心の注意を払い、個人情報の管理を含めた指導を徹底し、全力を挙げて信頼回復に努めてまいります。

以上、ふるさと納税に係る個人情報を含む文書の誤送付に関する報告とさせていただきます。

○議長（中井康雄君） これで執行状況の報告は終わりました。

◎日程第2 議案第103号 工事請負契約の変更について

○議長（中井康雄君） 日程第2、議案第103号、工事請負契約の変更についてを議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） 本案件は、新庁舎外構整備工事において、設計当初と現場での不一

致が発生したことや、次年度における早期工事完了を意図した対策などにより、工事請負契約の金額を変更しようとするものであります。

詳細については、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 補足説明、川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） それでは、議案第103号、工事請負契約の変更について、補足説明を申し上げます。

はじめに、黒ナンバー14番、議案その2の1ページに記載してありますとおり、本年6月定例会において議決いただきました新庁舎外構整備工事について設計変更し、工事請負契約における契約金額を6,138万円から6,532万9,000円に変更するものでございます。

次に、黒ナンバー15番、議案関係資料をご用意いたします。

1ページをお開きください。

新庁舎外構整備工事の工事請負契約については、記載のとおり、永井工業株式会社と令和2年6月12日から令和3年9月30日までの工期で契約を締結しております。

また、工事概要につきましては、基盤整備工、植栽工及び施設整備工などがございます。

次に、2ページをお開きください。

新庁舎外構整備工事の設計変更に係る図面を添付しております。

今年度、工事施工を取り進める中で、当初設計と現場との不一致がありました。

図面左上の斜線で記した部分が軟弱地盤であったことから、路盤材による置き換え工法で取り進めるものでございます。

また、令和3年度、早期完了を意図とした敷き鉄板を図面のA工区及びB工区に記した部分に同時期に敷設し、敷き鉄板の移設に伴う住民への危険回避を図るとともに、令和3年度、開庁時の安全対策といたしまして、仮設バリケードを設置し、事故防止及び安全施工を取進めようとするものでございます。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

議案第103号に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

議案第103号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第103号、工事請負契約の変更についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第103号は原案のとおり可決されました。

- ◎日程第3 議案第104号 札内川園地南札内溪谷に係る指定管理者の指定について
◎日程第4 議案第105号 中札内村日高山脈山岳センターに係る指定管理者の指定について

○議長（中井康雄君） この際、日程第3、議案第104号、札内川園地南札内溪谷に係る指定管理者の指定について、日程第4、議案第105号、中札内村日高山脈山岳センターに係る指定管理者の指定についての2件を一括議題にします。

提出者から提案理由の説明を求めます。

森田村長。

（森田匡彦村長登壇）

○村長（森田匡彦君） ただいま、一括議題に供されました指定管理者の指定2件の趣旨についてご説明申し上げます。

本案件は、札内川園地南札内溪谷ほか1施設の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2、第6項の規定に基づき、提案するものであります。

詳細につきましては、担当課長より説明申し上げますので、よろしくご審議、ご決定くださいますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○議長（中井康雄君） 補足説明、尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） それでは、議案第104号から105号、札内川園地南札内溪谷及び日高山脈山岳センターの指定管理者の指定について、補足説明をさせていただきます。

黒ナンバー14番、議案2ページ及び3ページをお開きください。

議案第104号、札内川園地南札内溪谷の指定管理者の指定についてですが、札内川園地南札内溪谷は、令和3年4月から、地方自治法第244条の2、第3項に規定する指定管理者制度を導入し、株式会社A O I L Oを令和3年4月から3年間指定するものです。

また、議案第105号、日高山脈山岳センターの指定管理者の指定についても、同施設は札内川園地南札内溪谷内に所在し、一体的に管理運営を行うことで効率的な運営が期待できることから、同じく、株式会社A O I L Oを令和3年4月から3年間指定するものです。

指定管理者として指定する株式会社A O I L Oは、平成29年度から本村の地域おこし協力隊として活動してきた梶山智大さんが設立した法人であり、梶山氏は令和元年以降、地域おこし協力隊として村観光協会とともに、札内川園地の管理運営にあたってまいりました。

この間、札内川園地の運営に関わっており、各種事業を実施してきたほか、日本オートキャンプ協会インストラクターの資格取得やキャンプ場指導者研修会に参加し、スキルアップに努めてきた経緯がございます。

また、これまで観光協会が行ってきた管理運営を円滑に引き継ぎ、事業を行うことが可能なことから、公募によらないで選定するものです。

なお、梶山智大氏につきましては、令和3年3月末で地域おこし協力隊を卒業する予定となっております。

以上で補足説明を終わります。

○議長（中井康雄君） これで提案理由の説明を終わります。

これら2件を一括して質疑を受けます。

質疑はありませんか。

7番宮部議員。

○7番（宮部修一君） 11月26日に行いました全員協議会の中でいただいた資料を見させていただいて、ちょっとお聞きしたいのですけれども、キャンプ場施設の使用料ですね、これについては、今まで確かバンガローですとか住箱等についてはバンガローが1棟5,000円の使用料をいただいていたと思うのですけれども、今度はこれ、それ以外に使用料として大人1名300円、子ども200円、デイキャンプで1名100円ということで、今までとまた別途にこの使用料をいただくということになったのかどうなのか。

その点をお聞きしたいと思います。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 使用料につきましては、指定管理者の今回の申請の際には、新たに利用者ごとに、例えば、今議員がお話された一人あたり、例えば300円ですとか、そういったことで計画の方は挙がってきたところなのですけれども、この部分につきましては、村の条例改正、使用料ですので当然、村の設置条例に規定する使用料との係りがございますので、今、令和3年、この後、予算編成作業において、例えばその辺の部分も検討し、必要に応じて使用料の改正が必要だということであれば、3月の定例会において条例改正で使用料の見直しは行いたいというふうに思っております。

○議長（中井康雄君） 7番宮部議員。

○7番（宮部修一君） 3月定例会でまた出すということなのですけれども、この中で、フリーサイトという言葉が載っているのですけれども、このフリーサイトというのは今までキャンプを行った駐車場として使っていた部分あたりのことを指しているのかどうなのか。

そういった今まで無料で使えていたところあたりも、今後は使用料をいただくということで出されているのかなというふうに思うのですけれども、その辺をどうするのか。

それとまた、今まで見ていまして結構連泊で何カ月も来られる方もいますし、そういった連泊の方の対応というのはどのように考えていくのか。

1回何百円か払えばずっといれるのか、それとも、1日何百円ずつかかってしまうのか。その辺をお聞きしたいと思います。

それとあと、使用料については、指定管理者の方に入れるということで条例も改正されたと思うのですけれども、その使用料が増えることによって、村が管理者に払う委託料というのは減る形になるということと理解をしてよろしいのでしょうか。

その点お伺いいたします。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 今回、計画で挙がってきたフリーサイトに係る使用料の部分につきましては、現在無料で利用していただいている大駐車場の部分を一定の区画割を行いまして、そこで一部有料にできないかという計画でございます。

また、2点目の連泊等でも、1日単位なのかそれとも日数ごとなのかというお話でしたけれども、まだ具体的な詳細の方、その辺詰めておりませんので、この後、指定管理等が正式に決まりましたら、その辺については詰めていきたいなというふうに思っております。

また、利用料金制の導入なのですけれども、今回、指定管理制度の導入に伴いまして、利用料金制度を導入したいというふうに考えてございます。

従いまして、一定の使用料が確保できれば、その分、村からの指定管理委託料は安くなると思いますか、下がるということでございます。

○議長（中井康雄君） 7番宮部議員。

○7番（宮部修一君） 大体分かりました。

もう1点ちょっとお聞きしたいのは、指定管理料ですけれども、収支計画の中で、修繕費等

あたりも見ているわけですがけれども、こういった修繕費等が当然かかればあれなのですけれども、もしその見ている金額までかからなかったような場合においては、その委託料から最終的にはかかった分だけを委託料として支払うということで理解をしてよろしいのでしょうか。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 今回の委託料の中には、今お話がありました修繕費のほか、各種公園維持管理に係る消耗品等に係る予算も計上しておりますので、その部分については、年度末に精算を行いまして、使用しなかったものについては精算で還付をしていただくという形になるかと思えます。

○議長（中井康雄君） ほかに質疑はございますか。

5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 今のAOILOの話ですけれども、南札内の園地、それから山岳センター、過去にはいろんな対策を組みながら、なかなかうまくいかなくて、ずっと管理だけという状況の中でやってきたと思うのですよね。

それで今、前に梶山さんを含めながらいろんなお話を聞きながら、意気込みも伝わったと思うのですけれども、これからは今までみたいにダメですよということにはならないので、やっぱりその辺、村といろんなものを相談して密に取りながら、前向きに進んでいくと。

何とか成功してもらわなくてはいけないことなので、これは本当に村も大変なことだと思いますけど、失敗しましたから止めましたということには絶対ならないのですよ、ここまで来たら。

その辺をしっかりと村と梶山氏に頭に打ち込んでいただいて、何とか成功していただくような会社にしていただきたいと思いますので、本当に村も頑張っていたかなくてはいけない部分と、梶山さんにも頑張っていたかみたいと、そういうふうに思います。

○議長（中井康雄君） ご意見としてお伺いしてよろしいでしょうか。

それではご意見としてお伺いしたいと思います。

ほかに質疑はございますか。

2番中西議員。

○2番（中西千尋君） それではちょっと1点お聞きしたいと思いますけれども、指定管理者としてのAOILO、前に説明を受けたとおりでもありますけれども、この指定管理の地域、札内川園地、これで言いますと札内川園地南札内溪谷という新しい標記とか、今までこの溪谷というところまであまり発表していなかったのですが、どこまで、例えば、前話も聞かせていただきましたけれども、ダムの下のリウタン湖や何か、あの地域もこれがすべて関わるという。

それから、登山者のヒュッテがありますけど、ああいうものの管理とか、それともう一つ、この園地の近くに、早くは吉田勇治さんがいろいろと問題としていたエゾサンショウウオの生息地等々が裏道のところであるような記憶もあります。

そういうところまですべてお任せをするのか。

何かありましたらお聞かせをいただきたいと思います。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） まず1点目の、今回、札内川園地南札内溪谷という部分ですけれども、もともとこちらの部分については、公園管理条例の中で規定している公園の名称という形になります。

範囲につきましては、基本的に、今現在、レストハウスですとか山岳センターがあるいわ

ゆる札内川園地とダム下流広場公園、こういったところも含んでという形になります。

ヒュッテの部分は若干距離は離れてはいますけども、これまでも観光協会の方で、例えば、ヒュッテの部分のトイレの清掃ですとか、そういったことをあたっていただいていた経緯がございますので、この部分についても、今後指定管理者とも協議しながら、同じく管理していただいた方が一体的かなというふうに思いますので、詰めていきたいなというふうに思っております。

最後のエゾサンショウウオの関係ですけども、現状を札内川園地の方でその施設を維持管理している状況ではないというふうにちょっと今は伺っています。

従いまして、エゾサンショウウオの部分については、状況を把握していないところもあるのかもしれないですが、産業課の方で押さえている限りでは、今、その設備自体がないというふうに押さえておりまして、そこの管理についてはしていない状況です。

○議長（中井康雄君） ほかに質疑はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

議案第104号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第104号、札内川園地南札内溪谷に係る指定管理者の指定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第104号は原案のとおり可決されました。

議案第105号に対する討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

議案第105号、中札内村日高山脈山岳センターに係る指定管理者の指定についてを採決します。

この議案は、原案のとおり決定することに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（中井康雄君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第105号は原案のとおり可決されました。

◎日程第5 一般質問

○議長（中井康雄君） 日程第5、一般質問を行います。

質問、要旨、答弁はそれぞれ簡略明解をお願いいたします。

順次、質問を許します。

通告順により、最初に5番北嶋議員。

○5番(北嶋信昭君) それでは、お許しをいただきましたので、質問させていただきます。
農家に対するコロナ対策について、伺いたいと思います。

今年の農産物の作況は、春先の干ばつ、高温、降雨によって農作物の被害は多大な状況下にあります。

特に中札内の特産であります枝豆については過去最低の減収となり、よって農協としては枝豆の種子の全額助成の措置を取っているとお聞きをしております。

春先から農協はコロナ対策給付金として、組合員1戸当たり5万円、職員一人5万円を支給しております。

また、枝豆加工品を3回にわたり支給し、8月には北海道ホテルにて中札内フェアにも組合員並びに職員に一人1万円の食事券をしたり、最大の努力を図っております。

しかしながら、村の対応は全くなく非常に不満と疑問を感じている昨今であります。

また、農協は毎年十勝管内では、1番2番の法人税を払っている実績があります。

今年は1億9,410万円を支払っております。

コロナウイルスによって、農産物の動きは悪く、価格が下落しております。

このような時期こそ村が率先して対策を取るべきであります。

村長の考えをお聞きしたいと思います。

○議長(中井康雄君) 答弁お願いいたします。

森田村長。

○村長(森田匡彦君) 農家に対するコロナ対策についてであります。村では農業分野における新型コロナウイルス感染症の影響や対策について、国の対策に注視しつつ情報収集や農協をはじめ関係機関と協議を行い、取り組みを進めてきたところであります。

国では、令和2年度第2次補正予算において農業者に対する経営継続補助金や、一部運用の見直しが行われた高収益作物次期作支援交付金を制度化しており、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている農業者が持続的に経営できるよう給付型の支援制度が実施されております。

村としましては、こうした各種支援制度の適用を受けることができるよう、農協や北海道農政事務所帯広地方拠点と連携した取り組みを行ってきたほか、6月以降は農協と協議を重ね、影響や課題の把握に努めてまいりました。

この中で、豆類やイモ等の収穫時期の受入、選別作業に係る密の解消や少人数でも安全で効率的な作業ができる体制づくりが必要という課題提起を受け、村としては、安全を保ちつつ今後も継続的に作業が行えるよう豆の選別作業場に自動化機器の導入検討を行っており、現在、3月補正予算での予算計上を視野に調整を行っているところであります。

また、今年は感染拡大防止のため、各種PRイベントや販売イベントが中止となっており、枝豆をはじめ、村の農産物を多くの方に食べていただける機会が減少しております。

村としましては、東京、札幌、帯広の各ふるさと会会員に特産品の詰め合わせを送り、地場農産品を食べていただくための費用を今定例会で補正予算に計上し、可決いただいたところであります。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響のほか、春先の干ばつや発芽期、収穫期の長雨など天候不順によって、畑作農家の皆さまにおかれましては、二重の影響を受け、大変厳しい年になっていると認識しております。

また、新型コロナウイルス感染症は、未だ終息の見込みが立たず、その影響が長期化しております。

今後も農協や各種関係機関と現況や課題を共有しつつ、新型コロナウイルス感染症の影

響を少なくし、農業者の皆さまが持続可能な営農ができるよう努めてまいります。

○議長（中井康雄君） 5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 村長から答弁ありましたけども、コロナ対策の村としての農業に対する対策なのですよ。

今、言うなれば商工関係者には休業補償だとか、それから売上のない人は補償したりとかいろんなことをしているのですけども、農業に関しては、今言いました農協や北海道、農政事務所帯広拠点との連絡云々というのは、これは国の対策であって村がしているわけじゃないですよ。

聞きたいのは、今、農業が何が売れて何が採れていないのかというそういうことを聞いて補償をしてほしいという話をしているわけですよ。

これは国のやっていることとか、そういうものに対して答弁であって、村としては何の、今、豆の選別機の自動化、これもこの間1週間ほど農協行ったけど話は全然聞いておりません。

どこで話しているのか分かりませんが、いい対策だと思うのですが、こういう対策をどんどん組んでいってもらって、農業に対しての支援ということになると思うのですよ。

それを国のやったことをいかにも我々がやったような話しながらしているのは、ちょっといかがなものですか。

そこをちょっとお聞きしたいですけども。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 農業に対するコロナ対策の支援についてですけども、確かに北嶋議員がおっしゃるように、各種の給付的な制度については、この間、国の方で事業を実施してきたところです。

村におきましては、農協の農産、あるいは、畜産の各部署とも協議しながら、給付型というよりも、今回、農業者の方がこの後もコロナ対策、影響長引くというふうに想定されることから、持続可能な生産あるいは出荷体制をつくっていくことが必要だという協議を行って、今回、豆の選別作業所の自動化というところの対策をまず打つことで、密を解消して安全な作業、あるいは、人が人数少なくなっても出荷ができるような体制づくりをまず構築しようという視点で、村の方としては農協と協議しまして、そういった支援を行っていくということで、この間、協議をさせてきていただいているところです。

○議長（中井康雄君） 5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 農協と協議しながらという話なのですけども、全然協議していないのですよね。

もうちょっと農協の組合長と、それから村長と、産業課と農産部長と、そういう人方のいろんな話をしながら、こういうことを決めていかななくてはいけないのに、何か上っ面で摘まんだような話しか聞こえないわけですよ。

個人としては、これで一般質問止めたいのですよ。

それは何かといたら、こんなときこそ村が対策を考えるべきですよと言っているのに、国のことを出してきたり、まだ未定の話を出してきたり、これ質問の答えになっていないのですよ。

どうですか。

○議長（中井康雄君） 山崎副村長。

○副村長（山崎恵司君） 直接的に北嶋議員の質問に対するお答えになるかどうかは分か

りませんが、国の制度を活用したというのも、農協さんが間に入ってやっているものもあれば、村が間に入って農家さんとのやり取りをして実施をしているものもあります。

ですから、実際にお金は国から農家さんへ直接という部分はあるのかもしれませんがけれども、村の会計を通っていないという意味ですね。

ですが、その協力については、村の方も実質的には行っていると。

それと、豆の選別の自動化の機械、これを導入することを農協さんと話をしているわけで、こういった部分については、農協の部長さん等とも当然お話をしながら、どういったものが一番密の解消になるのかということも含めてきちんとお話をした上で、今具体的なものの選定に入っておりますし、また、3月には補正予算としてその事業費分を計上したいというふうに、これは村単独の事業でということになりますが、そういった形でやりたいというふうに思っています。

これまでの協議の中で、私たちとしても、農協さんと話をする上で、今年度の収穫及び売れ筋、つまりそれによって余剰して在庫として抱えている分なんかも在庫としてはあるのだというお話も聞いておりますし、ただ、今、それを売り出しとかに検討をすると、今このコロナ禍の中で人を集めて密をつくるわけにはいかないというところは、農協さんも村の方も同様に考えたところであります。

ですから、そういった対策についても、販売促進のそういった対策についても全く考えないということではなくて、今後、当然コロナの今の現状がある程度収まってきた段階では、そういったものも当然予算として計上するケースもありますし、その辺はきちんと密にお話をしながら進めていきたいというふうに考えているところでございます。

全くそれまで題材として全く挙げていなかったということではございませんし、いろんな話し合いの中から今の状況に至っているということでご理解をいただきたいというふうに思います。

○議長（中井康雄君） 5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 総括の中の話なんだろうと思いますけども、例えば、今我々農家のつくっている農産物の動きというのは把握していますかね、今、村で。

6月以降、農協と密に連絡を取りながらという話なのですが、今、農産物の動きというのは、例えば、枝豆が売れていますか、麦が売れていますか、芋が売れていますか、そういう話は聞いたことありますか。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 今回、今、6月以降農協と協議をしてきているという話をさせていただきます。

各個別の農産品の動向につきましては、今回、直近でいきますと11月10日の日に総務部長あるいは農産部長とも打ち合わせをさせていただいて状況を把握をしているとともに、その際に、この後、検討している選別場への機械の導入等もその段階でちょっと検討させていただいているところでございます。

○議長（中井康雄君） 5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 詳しくは分かっていないようですが、今ものすごく豆の動きが悪いですね。

価格が下がって。

それで、中札内としては、枝豆、インゲンがあるおかげで、まだ在庫が多い方でないと。

各単協においては、豆が売れなくて売れなくて、倉庫足りないという状況の中にあるわけですよ。

であるのなら、うちにも違う作物の中でそういう状況があるはずなのですよ。

コロナのためにそういうふうになった補償とかいろいろ考えてくださいと自分は質問したつもりですけども、何かそれらしきものは一つも出てこないのですよ、ここの中では。国のやっていることまで、コロナ禍でと言うけども、これ違うのですよ。

これは国は国なのですよ。

今、農協の売上が、去年だけで法人税が1億9,410万円、このほかに個人税払っているわけですよ。

こうやってしている分の還付で予算が来るのですよ。

そうすると、今、1事業主には休業補償から収入保障までいろいろして、無金利で金を貸して、そこまでやっている住民と農業とはどう違うのですかね、これ。

自分としては、そういうものを平等にやってほしい、1商工関係者ですけども、それは大変いいことしたのですよ、それは。

であるのなら、農業にも同じような対策を考えていただけないですかという質問なのですよ、これ。

それを国のやっていることを出てきて、今一ついいことしているのは枝豆、ふるさと会でやると、これはありがたい話だけど微々たるものなのですよ。

その辺、何か自分でも話食い違っているものですからどういうふうに言っているか分からないのですけども、そういう細かいことかもしれないけど、そういうふうにも農業に対しても支援をしてほしいのですということをお願いしているわけですけども、いかがなものでしょうか。

○議長（中井康雄君） 森田村長。

○村長（森田匡彦君） ご質問に対する答弁、ちょっとなかなか不十分だったところはまずお詫びしたいと思います。

先ほど北嶋議員おっしゃられているとおり、中札内村、農業を基幹産業としていて、この農業の発展なくして中札内村の発展もないわけです。

そういった面では、この農業をしっかり守っていくというのはこれは非常に優先度の高い取り組みであるということは十分認識しております。

ただ、現在、いわゆる小売り、商店の方の支援はやっているけれど農業の方はどうなのだというようなお話ありました。

これについては、まず、商業については本当にスピード感を持って、本当に生きるか死ぬかという状況にあったということをご理解いただけるかというふうに思います。

農業については、非常に、正直言うと我々も見通しが見えづらい面がございました。

ただ、本当に小豆が、観光が落ち込んだことで非常に在庫がダブっているというようなお話であったり、逆に言えば、コロナの巣ごもり消費で売上がアップした作物というか商品もあったというふうに伺っております、このなかなか見極めというのが非常に行政としては難しい面がこれまで状況あったことは確かでございます。

そういった面では、情報収集については、まだまだ不十分な面があったのかなというふうには存じております。

このコロナについては、先ほども答弁させていただきましたとおり、非常に今第3波が来ていて、これが本当に来年度、令和3年、2021年にどうなるのかというのが非常に見通しがはっきりしない面がございます。

なかなか明るい材料、今、見通せない中で、農業についても間違いなく影響があるものというふうに我々も懸念をしているところであります。

そういった面では、これからもしっかり情報収集に励みながら、必要な対策はしっかり取っていく。

ただ、やはり農業者の方々の事業規模というのは非常に大きいものですので、どの程度やっぱりできるのか、どの程度の村の財政規模で支援ができるのかというのはあるとは思いますが、必要な対応については、これはしっかりやっていかなければならない。

そのように考えておりますので、ご理解いただけると幸いに存じます。

○議長（中井康雄君） 5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 農業の規模の中の、これは大きいのは分かりますけど、それだけ税金払っているわけですよ。

だから、その辺はそれなりの考えを持っていただかなくてはいけないなど。

一つ、この質問の中にありますけども、農協で一人5万円の支給をしてきた。

それから、枝豆加工品を支給してきた。

それから、北海道ホテルの1万円を支給してきたと、こういうものがあるんですけども、このときに、農協と密に連絡取れれば、村としてでも、その中に何か補助があってもよかったのかという気がするんですけどもね。

多分連絡取り合っていないと思うのです、そういうものは。

議会の中でも、議長を通じて村に、農業それから村、商工会、これら密に連携を取りながら、村の発展に頑張っていたきたいという議会からも行政にお願いしたはずなのですよ。

そういう連絡が取れないからこういうふうになってしまうので、自分としては、この中に何か一つでもいいから、村として農業者に支援をしていただくような形を取ってほしいです。

まだまだ言えばいっぱいあるのですけども。

村長言うように、これからどうなるか分からない。

確かにそうですよ。

今、乳価も変わりつつありますし、これから乳価どうするのかという時代も来るのかもしれない。

昨日の新聞に、民主党の十勝選出の議員が抗議に行っていますよね。

こういうこともまだ分からないのですよ。

けども、やっぱり村として、農業者に対する支援が見える形の中でやってほしい、村としてです。

国は国です。

そういうことを示してほしいのですよ。

ちょっと自分の質問の中に、こうなってしまったらどんな示しつけていいのか分からないのですけども、本来でいくと、これは質問の内容が違うので止めますと言おうと思ったのですけども、せっかく時間もらっているのですからそんなことできないから今質問しているのですけども。

できることなら、これ約束してほしいのです。

農協と村と十分話して、農産物の今何が障害があって、どういうふうになっているか。

それに対して、商工関係者まで行かなくても、村としてそういう対策を組んでほしいと。

これは村として、村長、約束してほしいのですよ。

農業に対しては何もないのですよ。

これからいろいろ話すれば出てくると思うのです。

今、こっちの新聞にも出たけど、種芋云々と言うけど、これ減収の話なのですよ。
こういうのとは関係ないのですよね。

それでも、何かコロナ対策に乗せて今一生懸命頑張ってくれているみたいだけでも、我々、自分が言うのはそうではなくて、村と農協との関係、農業との関係をはっきり示してほしいですよということを言いたいわけですね。

その辺、分かりますか。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 今、農協がやっている各種補助金に対して、村の方、何らかの支援等できなかったのかというご意見もいただきました。

確かにその部分については、農協とちょっと情報のやり取りが不足している部分もあったかと思えますので、先ほど、村長の答弁もありましたとおり、今後もきちっと農協の方と連携を密にしながら、一つひとつの作物の状況等も確認しつつ、村としてもきちっと対応していきたいというふうに考えております。

○議長（中井康雄君） 5番北嶋議員。

○5番（北嶋信昭君） 話は本当はそっちに持っていきかけたのですよね。

やっぱり先ほどから言うように、同じ村民である限り、みんな平等に税金を払っているはずだし、それを受ける権利もお互いにあるはずなのですよ。

そうであるのなら、村としてもっと本当に農協と村ともっと密になってくださいよ。

ちょっと今離れすぎて、多分、部長、課長の堺はあるのかもしれないけども、とにかくトップ同士の話というのはもっともっていただかないと。

中札内の基幹産業は枝豆です。

農業生産高百四十数億円です。

これではだめなのですよ。

そこに村がどれだけ一緒にやってきたかということではいけないと一つの村にならないわけですよ。

それをやっぱりしっかりやってもらうことで約束をしていただいて、また新たないろんな補正も出てくるかもしれないし、次年度予算の中にも大きな数字が出てくることを期待したいと思うのですが、そんなことで、単独はできません。

農協と村と一体となって頑張っていたくことで約束していただければ、これで終わりたいと思いますがいかがなものですか。

○議長（中井康雄君） 森田村長。

○村長（森田匡彦君） しっかり連携を取りながら進めてまいりたいと思います。

○議長（中井康雄君） それでは、ここで北嶋議員の一般質問終わりますけれども、休憩をしたいと思います。

11時5分まで休憩いたします。

暫時休憩します。

休憩 午前10時49分

再開 午前11時03分

○議長（中井康雄君） それでは、皆さんお揃いになりましたので、休憩前に引き続き会議を開きたいと思います。

それでは、2番中西議員。

○2番（中西千尋君） お許しをいただきましたので、質問をさせていただきたいと思いません。

冬期間の交差点における除雪・排雪・融雪に関する問題について、ご質問いたします。

国道236号線と道道55号線が交わるT字路交差点の南側と言いますか、ヴィレッジときわ野側にあります雑木林があるために、除雪・排雪後の路面状況がどうしても日陰になります。

凍結し圧雪アイスバーンやブラックアイスバーンの状態が例年続いている状況がございます。

主要幹線道路のため車の通行量も非常に多く、早朝や夕方の通勤通学時に影響が出ていると思いますが、村としてはどのような対応が考えられるのか、お聞きいたしたいと思いません。

○議長（中井康雄君） 答弁お願いいたします。

森田村長。

○村長（森田匡彦君） ご指摘の国道236号と道道55号が交わるT字路交差点についてであります。ときわ野行政区の北側雑種地に、樹齢の経過した広葉樹等の雑木林があることにより、日陰が生じ、冬期間の除雪後において凍結し、圧雪アイスバーンやブラックアイスバーン状態となりやすいことを確認しております。

このため、道道の管理者である北海道に対して、冬期間における路面状況悪化の対応について、しかるべき安全対策を要請してきております。

これを受けて、北海道では、アイスバーン対策も含めた取り組みとして、巡回パトロールを行って路面状況を確認しながら、砂や凍結防止剤を散布しております。

また、本村といたしましても、本年3月末に本箇所の雑木林について、議員から日陰の要因となる一部樹木の伐採と枝払いを行っていただきたい旨の要請をいただきまして、現地確認した後、樹木の伐採と枝払いを実施しております。

今後も、北海道に対して道路における安全対策の観点から、今までどおり巡回パトロールを行い、路面状況に合わせた砂や凍結防止剤の散布をするなどの安全対策を講じるよう要請するとともに、地域住民などに対しては、冬道の危険な場所における早目のスピードダウンや交通マナーの実践が行われるよう交通安全意識の高揚を図ってまいります。

さらに、日陰の要因となる本箇所の雑木林については、先ほど申し上げましたとおり、本年3月末に一部伐採を行っておりますが、これから冬期間本番を迎えることから、今季における状況把握に努めて、課題の解決に向けた取り組みを考えてまいりたいと思いません。

○議長（中井康雄君） 2番中西議員。

○2番（中西千尋君） それでは何点かお聞きをいたしたいと思いません。

今、答弁をいただきましたこの3月の定例議会で、一般質問の中でお話をしようとした件でもあったのですが、そのときちょうどコロナ禍の中で、一般質問の見合わせがあったわけでありました。

その折、今お話をいただきましたこの場所の一部雑木を排除していただいた経緯があります。

非常にその後の経緯は、路面状況もだいぶ見通しがよくなった状況ではありますけれども、まだまだ、ちょっと雑木の中で大きなものが何点かあるのが見受けられることでもありますので、そのことも含めてちょっとお聞きをいたしたいと思いません。

国道236号線と主要道道55号線、これらの管理状況ですけれども、それぞれ担当部署が違うことは理解しておりますが、村の村道も含めてですけれども、除雪時の出動時間帯

等々は、その国道、道道、村道で違いはあるのか。

お分かりになりましたらちょっとお聞きしたいと思うのですが、そういうところは把握できるのでしょうか。

○議長（中井康雄君） 成沢施設課長。

○施設課長（成沢雄治君） 除雪の出動について、お答えをしたいと思いますのですが、基本的には、国道、道道については、現在5センチメートル程度積雪があった場合に出動というふうになってございまして、村の場合については10センチメートルを基準として出動しておりますので、若干やっぱり国道、道道の方が出動が早いというような状況になっていることとございます。

○議長（中井康雄君） 2番中西議員。

○2番（中西千尋君） 分かりました。

国道、道道は主要道路でありますので、5センチメートルぐらいで業者が除雪に入っているということでもありますけれども、先ほど説明をいただきましたし、ただ、上札内側からしますと、道道55号は、上札内から来ると少し信号の手前で右カーブになりますか、そして信号があるという。

そして、ちょうど少し下り坂にもなっておる状況もあります。

そういうところで、早朝の通勤通学に非常に時間帯によっては雑木林の関係で影になっている部分がまだ見受けられる部分があるのですけれども、3月のときに早急に対応をしていただいた経緯もあります。

今後、降雪期に向けて、その雑木の処理は可能かどうかお伺いしたいと思いますけれども。

○議長（中井康雄君） 川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） 中西議員の質問にお答えしたいと思いますのですが、本年3月に、先ほどから申し上げておりますとおり、一部雑木林の伐採、さらには高枝を行ってきております。

今期、初めて迎える冬期間になりますので、本箇所の状況把握に今後は努めてまいりたいというふうに思っています。

よって、今期におきましては、立木の伐採ということは行わないという状況になります。

○議長（中井康雄君） 2番中西議員。

○2番（中西千尋君） 今、答弁をいただきました。

この3月に一番近いところの部分の雑木が相当数伐採をしていただいております。

今残っておるものの大きな部分をちょっとお話を聞きましたら、今期、様子を見ながらということも含めて、早急には伐採の対応がないというそういうご答弁でもありますけれども、把握されておられると思いますけれども、一番角にある大きな雑木、あれが一番大きな影になる影響もありますし、電線がすぐ前の国道側にあつて、もうほとんど電線に触れているような状況にもあります。

そしてまた、あそこは更別側から来るとすぐ信号も隠れる状況といたしますか、冬期間は割と葉が落ちていきますので隠れる状況ではないのですけれども、そういう状況にも見受けられますので、まずは一番角にある大きな雑木を何とか、今期、様子を見ながら対応していただけないかというそういう要望が上地区の通勤者等々にも何人かに伺っております。

3月の早期の対応には非常に、あの路面、通勤通学等には非常に便利にもなっております。

すけども、ただ、歩道もあそこはずっと、ヴィレッジときわ野から小学校に向けて、中学校に向けての歩道が付いていますし、交差点でもあります。

ご承知のように、あの地区に住まわれておる児童生徒数も非常に数が、村内では非常に多い地区かと思えます。

そういうことも含めて、児童生徒の安全も考えての雑木撤去は必要ではないかと思えますけれども、もう一度お伺いします。

○議長（中井康雄君） 川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） 高木の雑木撤去という質問だったと思うのですが、先ほど申し上げているとおり、はじめて迎える冬期間でありますので、あの高木がどのような影になるのか。

路面、それによって道路状況はどういうふうになるのかということも情報把握に努めた上で、伐採をするか否かということは考えていきたいと。

その辺の、必要に応じて考えていきたいというふうに思います。

○議長（中井康雄君） 2番中西議員。

○2番（中西千尋君） この冬、今まで積雪がほとんどゼロという十勝管内でもあります。

ほかの地域では非常に積雪が多い部分もありますけれども、やはり主要交差点、道道と国道の主要交差点でもあります。

幹線道路の中での、特に交通量の多い場所でもありますし、児童生徒の通学歩道もすぐ横を走っておる状況から、もう一度お考えをいただきたいと思うことでもありますけれども、今期、どのような状況になるか、まだはっきりしない中での対応ではありますけれども、できたら児童生徒の通学を含めた観点から、再度雑木の伐採等を要望することといたします。

○議長（中井康雄君） ご意見といてお伺いしたいと思えます。

それでは、次に、4番大和田議員。

○4番（大和田彰子君） それでは、役場移転後の役場跡地と改善センターの活用について、質問をいたします。

新庁舎の建設も順調に進んでおり、来年度早々には予定どおり役場機能が新庁舎に移転されることと思えます。

改善センターからは役場の執務室なども移転され、その用途も大きく変わることになります。

今年の2月の全員協議会において、改善センターの跡利用の概要について説明があり、キッチンスタジオを核とした村民が集える施設にする計画が示されており、また、8月にはコストの関係で、その内容が見直されているというお話も聞いております。

来年度の予算編成時期を迎え、その計画も熟成してきていると思えますが、現在までどのような計画になっているのかお伺いします。

また、庁舎機能移転後には、旧役場庁舎は解体されることになっておりますが、その後の敷地全体の利用計画は進められているのか。

されていないならば、どのような利用計画を考えておられるのか、併せてお伺いします。

○議長（中井康雄君） 答弁お願いいたします。

森田村長。

○村長（森田匡彦君） 役場移転後の役場跡地と改善センターの活用についてであります。改善センターの活用については、平成27年度に村民委員で構成されたまちなかにぎわいづくり委員会において、人と人を食でつなげるパブリックキッチンを創設してはどうか

との提言をいただき、改善センター1階の現執務室スペースをパブリックキッチンスペースとして改修する方向性を2月の議会全員協議会や4月に開催された行政区長会議等で説明をしたところであります。

こうした説明会の中で、改修した場合と新たに建設した場合のコスト比較を行うべき、お年寄りや村民が気軽に集まり利用できる福祉的な機能を設けるべきなどの意見をいただき、この間、内部で検討を進めてまいりました。

検討を進める中で、鉄筋コンクリート造りの改善センターを改修するよりも、木造新築の方が工事費を安価に整備することができる、現在お年寄り等が利用しているさつき荘が取り壊しになり、まちなかに気軽に集まれる場所も必要になると考えられることから、パブリックキッチンを庁舎跡地に新築し、改善センターについては村民が誰でも利用できるサロンやワーケーション、また、テレワークを見据えたワークスペースとする方向性をまとめたところであります。

現在、令和3年度予算編成や第7期まちづくり計画策定に係る作業の中で、建設・改修に向けた調整を行っており、まとめ次第、住民への説明や構想にかかる意見聴取を行いたいと考えております。

なお、これら施設の供用開始については、現役場庁舎の解体工事が令和4年度となるほか、建設費の財源として予定している地方創生推進交付金の申請スケジュールの関係上、令和6年度をめどに調整を行っているところであります。

また、役場跡地の敷地全体の利活用については、改善センターの利用方法によって決まる部分もあることから、改善センターの改修等の基本構想に合わせて示してまいります。

○議長（中井康雄君） 4番大和田議員。

○4番（大和田彰子君） 中札内村も今後高齢者が増えていくのが現状ですので、このような高齢者の活動拠点の場や多世代が集える場としての施設は大変期待しているところであります。

また、さつき荘では、高齢者のふれあいサロンとして、昼食やゲームをするなどの活動拠点となっていましたので、そこも計画にあるとのことですので安心しました。

それでは、最初に1点お聞きします。

役場庁舎解体工事が令和4年度からのことですが、来春、庁舎が引っ越ししますので、年度内には壊せるのではないかと考えますが、なぜ令和4年なのかをお聞きします。

○議長（中井康雄君） 川尻総務課長。

○総務課長（川尻年和君） 大和田議員の旧庁舎の解体が令和3年度に行えないのかということだと思うのですが、令和3年度におきまして、庁舎移転につきましては、ゴールデンウィークに行おうとしています。

その後に、現庁舎のアスベスト調査を行わせていただきたいというふうに考えておりました。さらには、この解体に伴う積算期間を要することから、来年度につきましては、令和3年度につきましてはアスベスト調査、さらには、積算期間というような形で行わせていただきたいというふうに考えております。

よって、令和4年の解体工事になるということでございます。

○議長（中井康雄君） 4番大和田議員。

○4番（大和田彰子君） 大体分かりました。

では、パブリックキッチンのことについて、ちょっとお聞きいたします。

ここはただの調理室ではなくて、何かおしゃれなイメージがありますが、もう少しどのような内容を想定しているのか、具体的にお聞かせください。

また、カントリープラザの調理室機能もそこに移転する考えなのかも併せてお聞きします。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） パブリックキッチンに関係ですけれども、現在、内部段階で検討をしている構想の部分ですけれども、基本的に一般の、例えば、お母さん方ですとか、あるいは、お年寄りの方も含めてですけれども、そういった方が普通に気軽に調理器具を使いながら料理をできる。

そして、そこでつくったものをその場で食べられるような、まずキッチンスペースということでパブリックキッチンを今検討しているところです。

ただ、まだ細かな内容につきましては、まだ決めておりませんので、今後、そういった部分については詰めていきたいなというふうには思っております。

あと、今回、道の駅の改修に合わせて、道の駅にある加工処理施設が事務所になるということもありまして、そこにあります各種機械、例えば、味噌づくりの機械ですとか、あとは大釜ですとか、そういったものも、今回、このパブリックキッチンの中に移設しまして、併せて、スペースをどうするかというのもこの後決めますけれども、機能については、併せてパブリックキッチンの中に設けたいというふうには思っています。

○議長（中井康雄君） 4番大和田議員。

○4番（大和田彰子君） 大体概要がちょっと分かりました。

このパブリックキッチンですけれども、その施設の完成予定が令和6年度をめぐりと言われましたが、来年、観光協会の事務所がカントリープラザ調理室に移転するので、調理室は約3年間使えなくなるという、使用できなくなるということになります。

もう少し早めにはできないのかと思います。

また、調理室を利用していた消費者協会や食育サポーター、その他の方々は、その3年間の間どうすることになるのかをお聞きします。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） まず1点目のスケジュールの関係ですけれども、先ほど村長の答弁でもあったとおり、パブリックキッチンの供用開始を、今、令和6年度をめぐりということで説明をさせていただきました。

パブリックキッチンを新たに作った場合、現庁舎の跡地に新設でつくる形を今検討しております。

そうなりますと、先ほど総務課長の答弁にあったとおり、令和4年度に取り壊しが行われるという形になります。

実際に、それに合わせて実施設計を令和4年度に行いまして、そこから予算措置、先ほど村長の答弁もありましたとおり、今回、地方創成交付金を活用しながら、財源についてはそれを活用したいというふうを考えておりますので、そういったところを踏まえると、最短で令和6年度ということで、今調整を行っているところでございます。

あと、現在、カントリープラザで使っている調理室が、何年間か、令和4年ほどまで使えなくなるというお話もございましたけれども、現在、カントリープラザの調理室につきましては、ちょっと令和元年度の実績ですけれども、年間で69日、16団体、あるいは個人がカントリープラザの調理室を使っているという状況でございます。

こちらの団体に対しましては、村の方で、来年度以降、調理室が使えなくなることの説明を順次行ってきておりまして、使われている住民の方にはご不便をおかけする部分もありましたが、更別村の農村環境改善センター、あるいは、更別村のふるさと館の方に同様の

設備があるということで、更別村とも協議をさせていただいて、改修期間、そちらの方を利用させていただくことで、更別村とは協議も行い、その旨、利用者の方にも説明を行ってきているところですので、各団体については、概ね村の考え方については示してきたというところでございます。

○議長（中井康雄君） 4番大和田議員。

○4番（大和田彰子君） 分かりました。

更別村とそういう、使わせていただくということで、上札内の交流館ですか、そこも調理室があるのでそこも使えるのではないかと今ちょっと思いましたけれども、それにしてもいろいろと不便になるというのは間違いないと思いますので、利用者にはしっかりと説明する必要があると思われれます。

先ほどの令和6年度をめどにということで、やっぱり3年間というのは本当に長いと感じますけれども、改善センターの方も同じく令和6年度に完成になるのか。

または、もっと早く改修して使えるようになるのかもお聞きいたします。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 改善センターの方の改修ですけども、今、パブリックキッチンの方に移設新設しなければならない、今、現道の駅にある機械については、一旦改善センターの方に保管するという形を取りたいというふうに思っています。

実際に令和5年の工事に合わせて、そういった器具を移設をしたいなというふうに思っていますので、基本的に改善センターの改修についても、令和6年の部分に合わせて行いたいと思いますし、一部は令和6年度中になる部分もあるかと思っておりますけれども、基本的にはパブリックキッチンの開始時期と合わせて改修の方を行っていきたいというふうに思っております。

○議長（中井康雄君） 4番大和田議員。

○4番（大和田彰子君） 改善センターは今の現在のある場所にあるので、来年度、役場庁舎移転するというので、何かもう少し早くできないのかなって、ちょっと今お話聞いて思いました。

さらに、改善センターが、先ほども言うておりましたけれども、さつき荘のような活動拠点となるならば、令和6年というのはあまりにも長い間使えないということになります。

そのさつき荘ですけども、そこはふれあいサロンのことを先ほど言いましたけれども、そのふれあいサロンはボランティアさんが昼食も提供しており、調理室も必要になってきます。

パブリックキッチンとは別に調理できる場所を想定しているのかもお聞きいたします。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 改善センター内の改修については、改善センター、中に調理できるスペースを今設ける予定は、計画の中では考えてございません。

○議長（中井康雄君） 4番大和田議員。

○4番（大和田彰子君） 考えていないということですか。

やっぱり一番最初にも言ったのですが、この高齢者、今後増えてきて、そういう活用拠点、高齢者だけでなく、多世代が集える大事な場所だになって、今後改善センターは貴重な場所だになっていうのを私は思っていて、そこに調理室がないということになると、特にさつき荘の活動、これからできなくなるのですが、そこには必ず昼食やお茶を飲んだりコーヒー飲んだり、そういう場所、必要になりますので、調理場というか台所ですね、そういうのは必ず必要だと考えます。

それで、パブリックキッチンと別にとというのはちょっと無理があるのではないかな。

または、パブリックキッチンを改善センターとつなげるとか、いろいろな方法があるのではないかって思いますので、そこは考えてほしいところですが、どうでしょうか。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） 基本的に改善センターの中にも、1階にお湯を沸かしたりお茶を入れたりというようなスペースはございますので、その部分については、令和6年度以降も利用されている方が使えるかなというふうには思っています。

ただ、併せて、調理できる施設については、基本的には改善センターの横に併設する形で、今、パブリックキッチンの建設を考えておりますので、そちらの方を使っただきながら、そこをちょっとつなぐかつながないかとかの検討はまだしていませんけども、両方の施設を効果的に使うことができるようになればとは考えております。

○議長（中井康雄君） ちょっと休憩いたします。

それでは、山崎副村長。

○副村長（山崎恵司君） 変わって私の方でちょっと答弁させていただきます。

今、回答というか、答弁がなかなか具体的にならなかった理由は、まだそこまで具体的にないからという理由でございます。

大和田議員言われるように、来年の5月に施設課なり産業課が引っ越しをして、あのスペースは開くわけでございます。

そこにカントリープラザにある大型の調理器具が一時仮置きされると、改修がされるので。

その部分については、ちょっと使うわけにはいきませんが、最終的に新たなキッチンスタジオができあがったときに移設をして、そのスペースが開くことでサロン化というのは検討の具体的項目としてあるのですが、他の部屋はすべて使えることになってございますから。

他の部屋というのは改善センターにある1階の会議室ですとか、2階の大集会室、これらは通常どおり利用できる部屋ということになりますから、言ってみれば、1階の円卓の会議室の隣にある湯茶等ができる台所スペース、実際にありますから、そういったところの活用も含めて、その新たにサロンの要素の改修を行う前であっても利用をすることができるよう、所管である、所管といいますか、そういった住民とのやり取りをしなければならぬ福祉課とも協議をして、対応ができる部分についてはできるだけ活用できるように考えていきたいなというふうに考えているところでございます。

○議長（中井康雄君） 4番大和田議員。

○4番（大和田彰子君） 移転後、ガランとしたスペースだからで自由に使ってくださいと言われても、そこはお年寄りや、ふまねっととか、今麻雀ですか、そこも児童館でやられていると聞いているのですが、そういうのがするかなとは思いますが、どんなふうに活用できるのかなというところには不安を感じますね。

そういうことで、いろいろ聞きましたけど、まだボヤっとした内容で具体的なことはこれからかなって思いましたけども、女性たちの集まりは、今言った話題も本当に出ておりますし、いろいろなアイデア持っている人もいますので、固まる前に早目に意見調整する必要があると思います。

文書には、まとめ次第、住民への説明や意見聴取を行いたいと書いてありますが、まとまってからでは遅いと考えます。

実際に利用している人の意見を聞くなど、使いやすい施設になるよう住民と検討される

ことが一番良いのではないかと考えますので、ぜひそのような取り組みをお願いしたいと思っておりますがどうでしょうか。

○議長（中井康雄君） 尾野産業課長。

○産業課長（尾野悟里君） この後、例えば、消費者協会、あるいは利用されている食育サポーターの方とも意見交換する機会がありますので、構想案がまとまる前に、そういった方々の意見も聞きながら、そして構想案はまとめていきたいというふうに思っております。

あと、併せて、今回、さつき荘の利用者の方もいらっしゃいますので、その部分についても、福祉課の方とも連携を図りながら、そういった方々の利用の意見も伺いながら、構想案はまとめていきたいというふうに思います。

○議長（中井康雄君） 4番大和田議員。

○4番（大和田彰子君） そこはぜひ期待をしております。

それで、最後になりますけど、先日行われた座談会ですけれども、そこでまちづくりに関心ある人が多い、何かに関わりたい気持ちを持っている人が多いということが、私も参加してよく分かりました。

ぜひ、この中札内でも行政が主体となって考えるのも大事ですけれども、まちづくり計画にもあります住民参加と活力あるまちづくりとか、協働のまちづくりというのをすごく書いてありますけれども、実際はそこはなかなかできていない。

この間の座談会は本当にそういう意味で実のある内容だったのではないかと思いますので、その住民参加の協働のまちづくりを期待して、私の質問を終わらせていただきます。

○議長（中井康雄君） ご意見としてお伺いしたいと思います。

それでは、一般質問を終わります。

これで本日の日程はすべて終了しました。

会議を閉じます。

令和2年12月中札内村議会定例会を閉会します。

閉会 午前11時43分